

にしめがね

西東京市公園調査プロジェクト
ふりかえりレポート vol.2

開催概要

日時：2016年9月4日（日） 14：30～16：30
 場所：西東京市 エコプラザ西東京
 主催：西東京市みどり公園部みどり公園課

当日のプログラム

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 開会あいさつ | 4. 公園調査について |
| 2. 前回のふりかえり | 5. チーム分け |
| 3. 宿題発表 | 6. 閉会 |



前回のふりかえり

西東京市の公園の現状と課題として、「**小さな公園が多いこと**」と「**公園が生活圏に分散していること**」を確認しました。また、前回のワークショップでは課題を深く掘り下げることで、**公園調査のテーマを発見するための「なぜ4回」**というゲームを行いました。その中で出た意見を分析し、公園調査のテーマを抽出しました。



宿題の発表（日本の先進事例について）

宿題では、**今後の公園や空き地の活用の傾向を知ってもらうことを目的に**、国内の先進的な取り組みをしている公園や空き地について調べてもらいました。その内容をもとに、参加者自身が調べてきた事例をテーブルごとに発表しました。**インプットした知識は自分の言葉や文章でアウトプットすると学びが最大化される**という研究があります。この視点から、宿題の共有では、調べてきたことをみんなで伝え合い、学びの最大化を体験してもらうことを意図しました。

事例①：南池袋公園（東京都）



カフェが併設され、行政と民間が連携して賑わいをつくっていくパークマネジメントの仕組み。非常時には情報や物資の拠点にもなる。

事例②：有馬富士公園（兵庫県）



市民が「キャスト」となり、一般来園者に対してプログラムを提供するしくみ。30団体以上が公園運営に参加している。

事例③：泉佐野丘陵地公園（大阪府）



公園づくりの知識を学んだ市民がパークレンジャーとなり公園づくりを実践。つくり上げる過程で感じる「コト」を大切にしている。

事例④：大阪発、公園からの健康づくり（大阪府）



14の公園を活用した、運動を中心とした健康づくりの取り組み。誰もが自分の体力に合わせて効果的に運動できるスペースがある。

事例⑤：わいわいコンテナプロジェクト（佐賀県）



空き地を芝生の原っぱに置き換え、コンテナを利用した交流スペースを設けることで人が集まり、地域に賑わいが生まれる仕組み。

事例⑥：北加賀屋クリエイティブファーム（大阪府）



地域の空き地を活用し、ランダムに集まったチームで野菜作りを行い、収穫した野菜の販売やイベント企画まで行っている。



「にしめがね」は、**市民の視点から西東京市の公園を調査し、私たちの生活をより豊かにするための活用のアイデアや公園づくりを目指すプロジェクト**です。

9月4日（日）に第2回ワークショップが開催されました。20～80代の男女34名に参加いただき、公園調査などについてさまざまな意見が交わされました。このレポートでは、当日の様子やいただいた意見の一部をご紹介します。

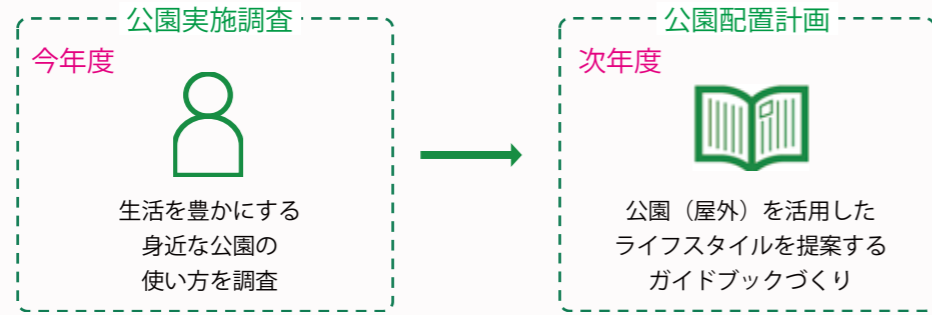
宿題発表の感想

- ◎ 事例の公園を実際に視察した人もいて驚きました。実際に訪れなければ分からない発見があり、やはり現地調査が大事だと思いました。
- ◎ 行政や民間企業のみならず、**地域みんながいろんなイベント等を考え、運営・経営する取り組みが増えていることが分かりました。**



公園調査の目的

- ・「小さな公園」＝「生活圏にある身近な空間」と考え、毎日の生活をより豊かにしてくれる小さな公園の使い方を考えよう。
- ・キーワードは「生活 (Park Life)」。地域の庭と考えて小さな公園を使いこなそう。



キーワードは…「生活：Park Life」

公園調査の流れ

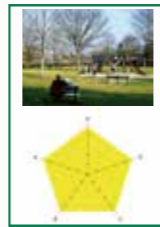
○調査・シート記入

- ・機能的な側面の調査
- ・使い方の調査



○公園カルテづくり

- 各々のテーマ（問い）から見た
- ・各公園の魅力と課題
- ・活用のアイデア



◆機能的な側面の調査（機能調査票の記入）

- ・「運動・憩い・環境」の側面から、公園の機能面について該当する項目に○やメモを記入します。
- 遊具やベンチ、植栽などの設備を把握するために使います。



◆使い方の側面の調査（使い方調査票の記入・写真で記録）

- ・「遊び・健康・憩い・学び・個性（その他）」の分類をもとに、平日及び休日それぞれの朝、昼、夕、夜における公園の使われ方を記入。調査票と合わせて写真でも記録します。
- 公園の使われ方を知り、アイデアを発見するために使います。



ここがポイント！



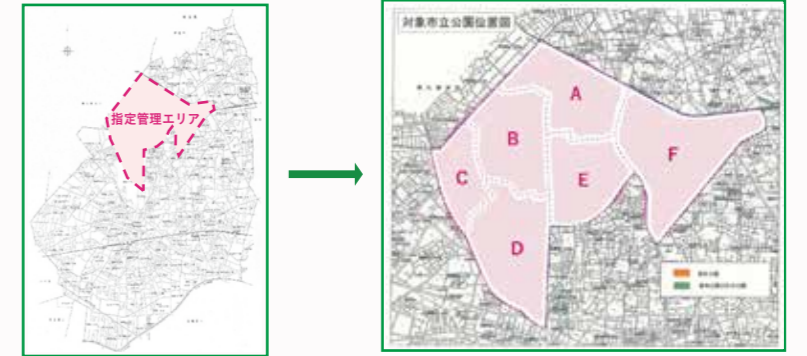
公園調査の目的は以下の2つ。特に2つ目がポイント。

- ① 公園の使われ方（現状）を調べる
- ② 公園や屋外の面白い使い方（アイデア）を発見する
→公園や屋外空間を自分の家や庭のように使いこなす人々を探そう

※チームや担当に関係なく、面白い使い方をしている人を写真で記録しよう！

公園調査の範囲

西東京市の公園の特徴としてエリア型の指定管理者制度を取り入れていることが挙げられます。この指定管理エリアにある50公園を、A～Fの6エリアに担当分けし、公園の実施調査を進めていきます。



公園調査の内容と対象エリアをもとに、チーム分けを行いました。多くの公園を幅広い時間帯で調査できるように、参加者それぞれが、色分けしたカードに調査可能な時間を記入してチーム分けを行い、年齢や所属の異なる参加者が集まった6つのチームができました。



◆Aエリア

- 石塚 夢子 さん
- 大高 充士 さん
- 妻屋 良男 さん
- 埴 雅美 さん
- 水井 高志 さん



◆Bエリア

- 大矢 隆治 さん
- 小林 大介 さん
- 武田 五郎 さん
- 利光 有紀 さん
- 永尾 悠太 さん
- 村田 究 さん



◆Cエリア

- 池上 良彦 さん
- 池田 干城 さん
- 斉藤 かおる さん
- 野口 てつや さん
- 皆川 卓哉 さん



◆Dエリア

- 池田 広子 さん
- 古林 美香 さん
- 徳永 創 さん
- 南雲 みさ さん
- 山崎 さゆり さん
- 吉尾 恵子 さん



◆Eエリア

- 飯村 佳之 さん
- 榎本 紘子 さん
- 荻野 章太 さん
- 小須田 厚子 さん
- 吉野 玲子 さん
- 若尾 健太郎 さん



◆Fエリア

- 浮田 理香 さん
- 桑原 貴子 さん
- 後藤 紀行 さん
- 平原 智恵子 さん
- 渡部 國夫 さん



今後は調査結果をもとにアイデアを探っていきます！お楽しみに！